
ソフトウェアジャパン2016
CITPコミュニティ
アンケート結果

2016/2/5

CITPコミュニティ幹事
NEC 赤坂 亮
(認定番号13000001)

CITP 認定情報技術者
Certified IT Professional

http://www.ipsj.or.jp/event/sj/sj2016/IT-F_ITprofessional.html
ソフトウェアジャパン2016
ITフォーラム：CITPフォーラム

2016年2月4日（木）
一橋大学 一橋講堂会議室



CITP（認定情報技術者）の活動と役割

[09:30-09:40] スタートアップ講演：CITPフォーラムの意義と目的

平林 元明（株式会社日立製作所/情報処理学会 CITPフォーラム代表）

[09:40-10:00] 基調講演：CITP制度－発足の経緯と今後の期待－

旭 寛治（株式会社日立製作所/情報処理学会 資格制度運営委員会 委員長）

[10:00-11:00] ライトニングトーク：ライトニングトーク形式のプレゼン

CITPの代表者10名程度

[11:00-12:00] パネル討論：CITPの現状と未来 ～社会価値創造への挑戦～

司会：赤坂 亮（日本電気株式会社 ITサービス戦略推進部 マネージャー）

パネリスト：旭 寛治（株式会社日立製作所/情報処理学会 資格制度運営委員会 委員長）

パネリスト：平林 元明（株式会社日立製作所/情報処理学会 CITPフォーラム代表）

パネリスト：畠山 卓久（富士通株式会社サービスプラットフォーム戦略企画室 マネージャー）

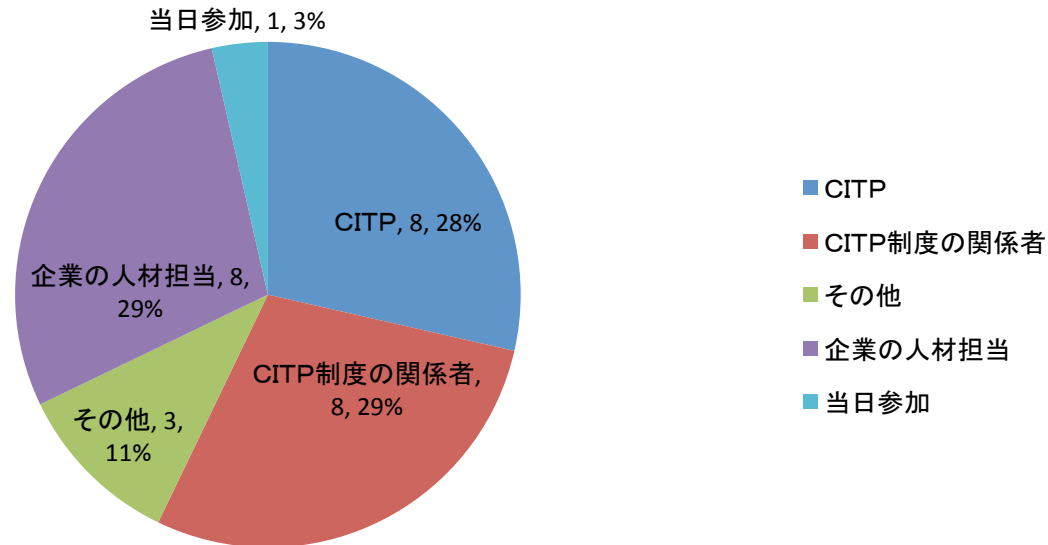
パネリスト：松田 信之（株式会社中電シーティーアイ人財開発センター センター長）

サマリ

- ライトニングトークについて、約6割が非常によかった、約4割が良かったと回答あり
第1回目の取り組みとしては成功したと思われる
- 過去の高度IT人材フォーラムの参加と不参加がほぼ半分ずつであり、新規参加率も増えてきているが、絶対数は少なく、さらなる認知度向上が求められる
- フリーアンケートでは、「CITPを取得するモチベーションが上がった、コミュニティに関わりたいという思いが強まった」という嬉しい意見があった。また、ライトニングトークでは、「CITPのバラエティの広さを感じ、今の専門にとらわれない幅広く・先を見たコミュニティ活動が期待できた」、というCITPの将来性をアピールできたと思われる。
- 一方、「パネル討論にはCITPの若い方が参加されたらどうか」、「制度、資格をどれだけ大きな社会価値に出来るのか自己啓発、自助努力以外のものが見えてこなかった」「だいたのスコープが狭い感じがします。CITPが目指す社会価値創造への挑戦には継続的な見直しが必要と思います。」など、今後の検討を要する意見もあった。

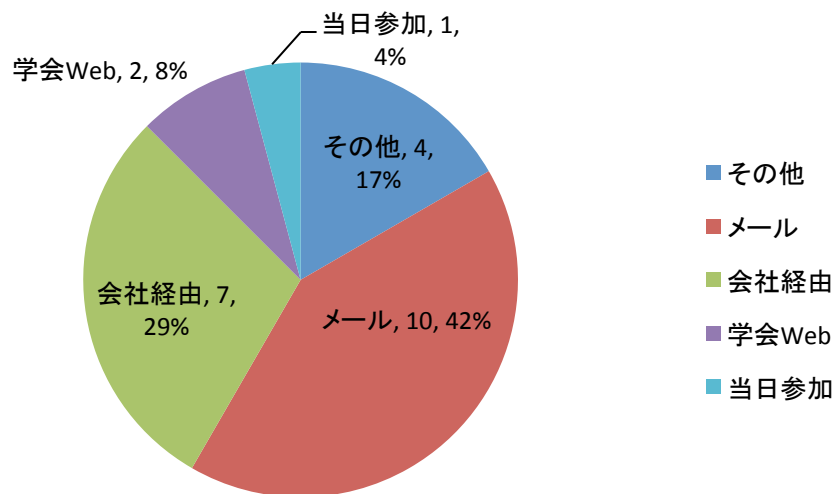
あなたの立場についてあてはまるものをチェックして下さい。

参加者は、CITP、CITP制度の関係者、企業の人材担当で約9割
有効回答数28



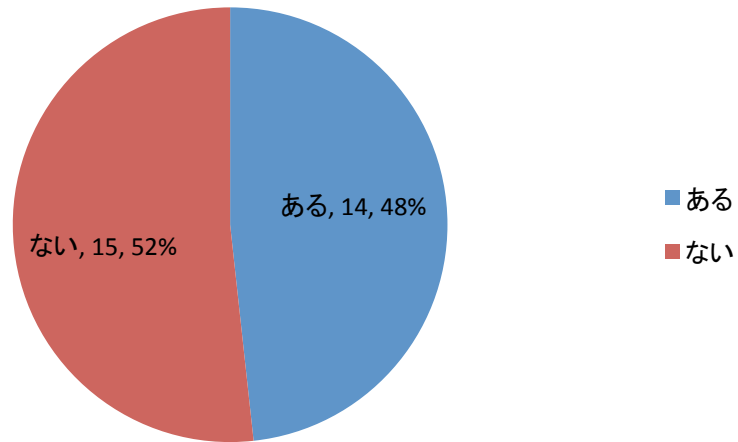
本イベントをどのようにして知りましたか？

学会からのメール、会社経由で約7割がイベントを認知
有効回答数24



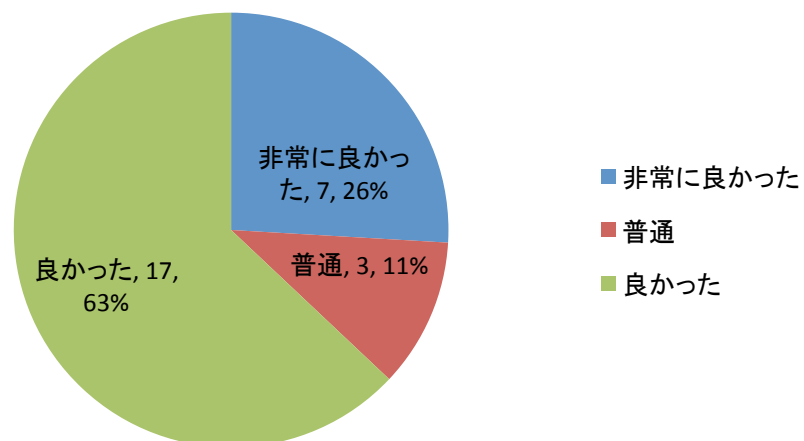
過去に「高度IT人材フォーラム」に参加したことがありますか？

過去の高度IT人材フォーラムの参加と不参加がほぼ半分ずつ
有効回答数 29



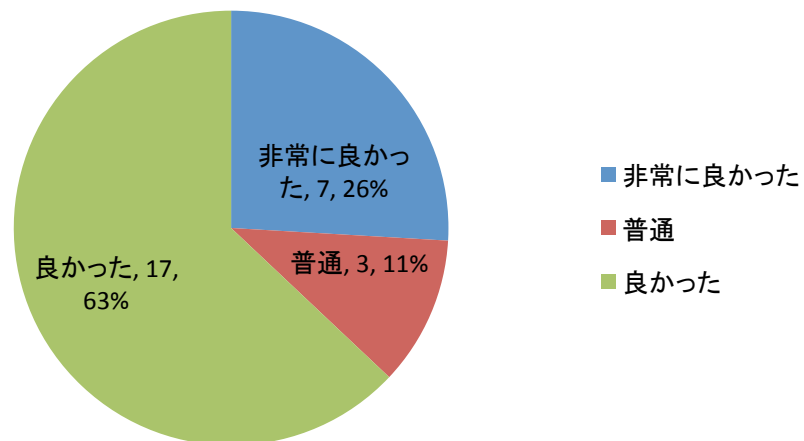
CITPフォーラム全般の感想をお聞かせください。

約6割がCITPフォーラム全般として良かった、と回答
有効回答数 27



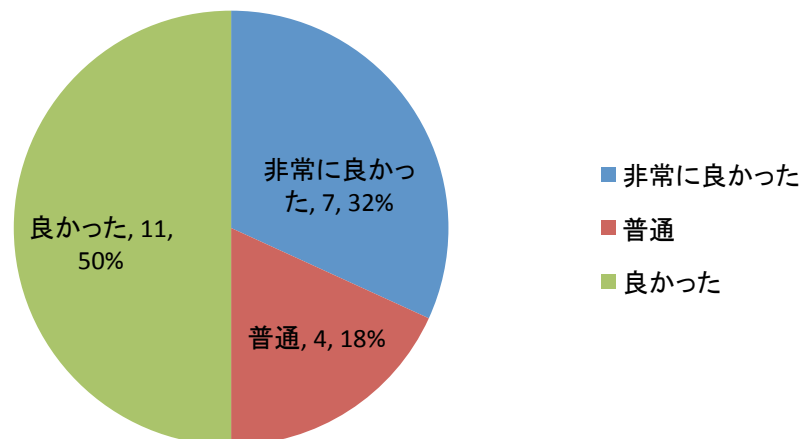
CITPフォーラム全般の感想をお聞かせください。

約6割がCITPフォーラム全般として良かった、と回答
有効回答数 27



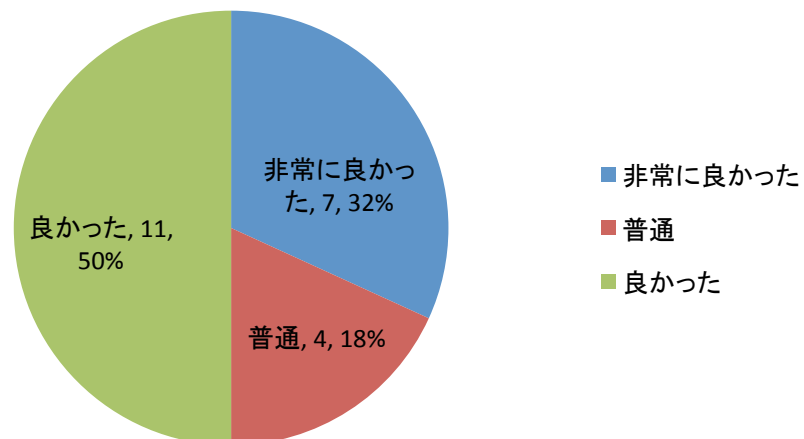
スタートアップ講演の感想をお聞かせください。

約5割がスタートアップ講演が良かった、と回答
有効回答数22



基調講演の感想をお聞かせください。

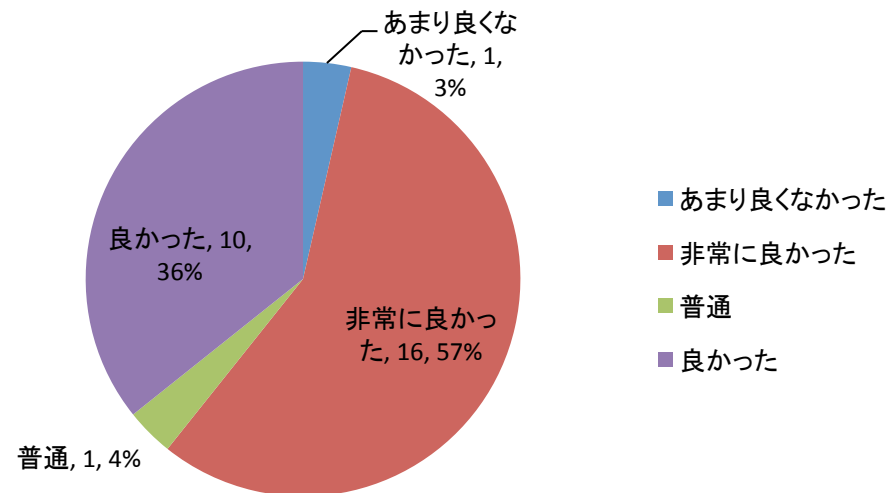
基調講演について、約3割が非常に良かった、約5割が良かったと回答
有効回答数 27



ライトニングトークの感想をお聞かせください。

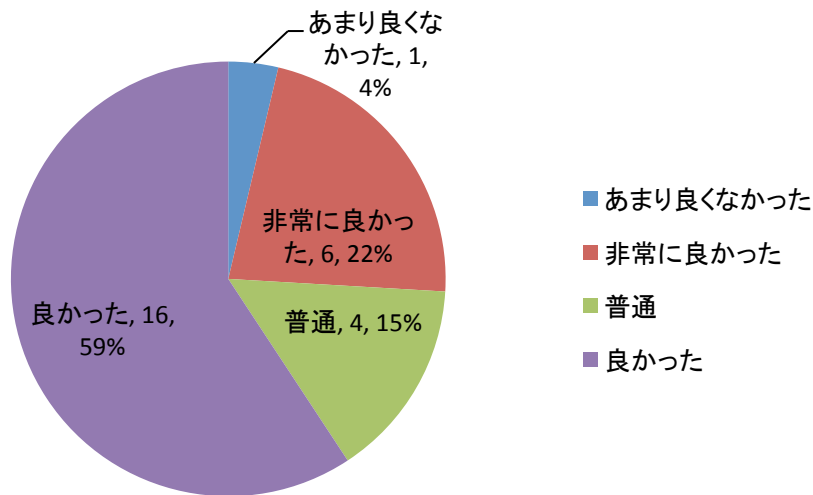
ライトニングトークについて、約6割が非常に良かった、約4割が良かったと回答

有効回答数 28



パネル討論の感想をお聞かせください。

パネル討論について、約6割がよかった、約2割が非常に良かったと回答
有効回答数 27



フォーラムのご感想やご意見をご自由にお書きください

・企業認定制度の課題や今後の展望についても取り上げて欲しかった
・ライトニングトークで各社の問題意識や取り組みがわかった
・パネル討論にはCITPの若い方が参加されたらどうか
・ライトニングトークの目的・主旨・試みが理解しにくかった。 パネル討論は有意義であった。 現在レベル4であるが、レベル5以上の役割・制度設計が今後重要
・各社のCITP認定者のライトニングトークがコンパクトにまとまっていてよかった
・PPT資料が欲しかった
・CITPを取得するモチベーションが上がった。 コミュニティに関わりたいという思いが強まった
・CITPのメリットをもっと伝えられたら良いと思いました。 今のところ、コミュニティによる交流が大きなメリットかと思います。
・CITPという活動の意義はわかるが、CITP認定を受けた人の個人活動と社会貢献のギャップをどう埋めるかが不明
・途中から参加しました。関係者の方々の見識と熱意を感じました。

フォーラムのご感想やご意見をご自由にお書きください

- ・社会地位の向上を図るのが目的であるなら、国家資格が課題である。そうしないとCITP人口増加にも限界が来る気がする
本日の投影資料はライトニング、パネルを含めて全て公開してほしい。CITP制度はおおいに期待しています。
- ・制度、資格をどれだけ大きな社会価値に出来るのか自己啓発、自助努力以外のものが見えてこなかった
- ・第1回として全体的によかった。コミュニティの熱意と活力を感じることができた。ライトニングトークでは、CITPのバラエティの広さを感じ、今の専門にとらわれない幅広く・先を見たコミュニティ活動が期待できた
- ・CITPコミュニティの活動を知ることができた。CITP制度、発足の経緯を詳しく知ることができた、有意義、ライトニングトークは短時間で多くの会社の人のお話を効率的に知ることができた
- ・パネル討論はCITP自身にとっても今後を考える非常に良い道標となりました。
- ・CITPがベースとなるITSSをSFIA6と比較するとだいぶスコープが狭い感じがします。CITPが目指す社会価値創造への挑戦には継続的な見直しが必要と思います。
- ・情報処理学会の取り組みを通じて、Sierの向かう方向性が垣間見れたことがよかった。政府調達におけるITとゼネコンの横柄かつ雑なやり方には辟易しているので、改善されるとともに政府も身を引き締めなければと思う。